



## TBS テレビ入社式武田社長挨拶 「輝ける TBS 人生のスタート」

4月2日午前10時から、TBSテレビの2018年度入社式が行われ、武田信二社長ほか幹部が出席、新入社員の門出を祝福しました。

### ■ 新入社員数

38名(アナウンサー4名、技術4名、デザイナー4名、一般23名、キャリア採用3名)

### ■ 武田信二社長 挨拶

皆さん、入社おめでとうございます。本日、TBSテレビに38人の仲間を迎えることができ、大変嬉しく思います。

先週、皆さんの一年先輩、2017年入社の人たちと赤坂の居酒屋で、入社一周年を祝う懇親会を行いました。その席で、一人ひとりにこの一年間を報告してもらいました。失敗したことの数々や怒られたこと、有名な芸能人に会えてうれしかったことなど含めていろいろな報告があって、一年間で成長した姿を見て、私も安心したところです。

ご存知のように、放送業界は激変の時代を迎えています。さらに現在、政府の一部で放送制度や放送法の見直しの議論が行われています。テレビをインターネットと同列に論じる動きもあります。これについては、新聞も含めてメディア側は総反発しており、我々もそう簡単に改正させるわけにはいかないと発言しています。ただ、技術は日進月歩ですし、我々の放送のありようも変化しています。我々も昨日有料動画配信の「Paravi」を開始しました。これは後発ではありますが、先行するライバルたちと戦う体制を整えているところです。しかし、こうした激変の中にあっても、大規模災害時の重要なライフラインとしての放送の役割、番組や事業を通じて全国に正確な情報、あるいは感動や笑いなどを届けるという使命は不変です。あなたたちが30数年後、定年を迎えた時、TBSテレビ、TBSグループが一流の文化創造企業であることを願ってやみません。

そのために私から二つお願いがあります。

一つは、「どんどん失敗してください」。

先ほど紹介したように、あなたたちの一年上の先輩たちはよく失敗しています。いいんです、失敗して失敗して、それを糧にして成長していく。若い人の失敗は、会社の命運を左右することは、ほぼありません。今私がここで失敗したら、経営で失敗したら大変なことになります。私はその覚悟で社長を務めておりますが、君たちは失敗を重ねてどんどん成長していただきたい。

テレビ局の社長になって、じゃあ私に何ができるのか。従業員一人ひとりが輝かしい TBS 生活を送る、そのために私に何ができるか、それをずっと考えてきております。昨日、この本社の近くに、「はなさかす保育園」を開設しました。TBS テレビ、博報堂、博報堂 DY メディアパートナーズで働く人のために、0 歳児から 2 歳児までお預かりする、しかも平日は夜 10 時まで、土日もお預かりする。365 日 24 時間放送する会社に勤める皆さんにとっては、大変役に立つ保育園になると思っています。もう一つは、本日開校した「TBS グループユニバーシティ」という企業内大学です。いろいろな研修を今までやってきたわけですが、それを統一的、総合的にカリキュラムを組み、講演、実技などを学びながら、皆様の成長のツールにしたいという思いで作りました。

こうした保育園や企業内大学だけではなく、まさにあなたたちが、輝ける TBS 人生を送るためにまだまだできることがあると考えています。あなたたちが輝かなければ、素晴らしいコンテンツはできません。正しい報道というミッションは果たせません。

お願いの二つめ。「一人ひとりがナンバーワンになってください」。

あなたたちが研修を終えた後、配属先でいろんなことがあるでしょう。しかし、何より重要なのは、皆さん一人ひとりが、それぞれの仕事で「この分野では誰にも負けない。ナンバーワンになるぞ」という信念を持って努力することだと思います。TBS が放送局の中でナンバーワンになれるのは、社員一人ひとりが、ナンバーワンになろうという意欲の総和だと思います。

TBS は楽しい会社です。輝ける TBS 人生のスタートです。38 人の皆さんとともに、我々先輩たちもよりいっそう成長躍進することをここに誓って、入社式の挨拶とさせていただきます。頑張りましょう！

以上